

令和3年度 第2回 室蘭市入札・契約審議委員会 議事概要

1. 開催日時

令和3年11月10日 10:00

2. 開催場所

室蘭市役所本庁舎3階 議会第1会議室

3. 出席者

(委員)

■室蘭工業大学教授 木村 克俊

■税理士 田中 喜崇

■弁護士 阿部 洋介

(室蘭市)

■ 室蘭市総務部長 和野 泰始

■ 室蘭市入札・契約審議委員会事務局、建築管理課長、水道施設課長

4. 次第

- ・開会
- ・議題

報告事項 令和3年度上半期建設工事等に係る入札・契約手続の運用状況等について

審議事項 (1) 令和3年度上半期建設工事等に係る抽出事案について
(2) 次期抽出委員の指名について

5. 抽出事案審議結果

いずれも適正に執行されていると認める。

6. 決定事項

(1) 次回審議事案の抽出について

今回で各委員の任期が切れるため、次期委員が決まり次第、新委員に審議事案の抽出を委任。

7. 意見交換・質疑応答等

(1) 報告事項について

[主な質疑応答]

木村委員
総務課主幹
木村委員

総合評価落札方式は、今後も年に何回か実施していく予定は。
現在は年に1、2件だが、今後は拡大する方向で検討している。
了解した。
国の公共事業でも総合評価落札方式を採用する割合は高くなってきているので、地方自治体においても同様の流れかと思うので、引き続き検討していただきたい。
また、各委員においては、次回以降の審議案件抽出時には、入札のプロセスを見て課題を抽出していく必要がある点に留意していただきたい。

(2) 抽出事案について

工事 7件

ア 高落札率かつ随意契約となった一般競争入札6件

- 東町弥生団地市営住宅54・H-2号棟排水管改修工事
- 東町弥生団地市営住宅54・H-2号棟給水管改修工事
- 白鳥台L団地市営住宅46・L8-3号棟改修電気設備工事
- 白鳥台L団地市営住宅46・L8-3号棟改修衛生設備工事
- 東町弥生団地市営住宅54・KR-2号棟給水管改修工事(参考資料)
- 東町弥生団地市営住宅54・KR-2号棟電気設備改修工事(参考資料)

イ 高落札率かつ市外業者と行った随意契約1件

- 消石灰・炭酸ガス併用注入設備標準点検整備

委託 1件

ア 落札率が低いもの 1件

- 白鳥台L団地市営住宅48・L8-4号棟改修実施設計委託
.....
- 東町弥生団地市営住宅54・H-2号棟排水管改修工事
- 東町弥生団地市営住宅54・H-2号棟給水管改修工事
- 白鳥台L団地市営住宅46・L8-3号棟改修電気設備工事
- 白鳥台L団地市営住宅46・L8-3号棟改修衛生設備工事
- 東町弥生団地市営住宅54・KR-2号棟給水管改修工事(参考資料)
- 東町弥生団地市営住宅54・KR-2号棟電気設備改修工事(参考資料)

[主な質疑応答]

田中委員

予定価格の事前・事後公表の基準は。

総務課主幹 予定価格が税込みで 1,000 万円未満までは事前公表、1,000 万円以上を事後公表としている。

田中委員 事後公表の案件であっても、計算方法は決まっているので、積算ソフト等を使ったり、時間をかけて計算したりすると予定価格を算出できるという認識で間違いないか。

総務課主幹 工種にもよるが、例えば土木工事は単価が公表されているので、積算ソフトを使うことで、かなり精度の高い積算が可能となっているが、電気工事や管工事では状況は異なっている。

田中委員 承知した。
各工事の平均落札率を見ると JV 発注の工事が高くなっている。同じ値引き額でも金額の大きい工事では割合が小さくなるためと感じたが、特に管工事においては、発注方法の違いによる平均落札率の差が顕著だと感じる。

木村委員 工種別の平均落札率を見ると、塗装工事がかなり低くなっているが、工事の件数はどのようになっているのか。

総務課主幹 工事件数は、一般土木・建築工事が最も多く、電気・管工事が次いでおり、その他の工事は少なくなっている。塗装工事などは年間 1、2 件であり、そのため、件数が少ない工種では、1 件が工種全体の平均落札率に与える影響が大きくなっている。

木村委員 単体又は JV といった発注基準は工種により異なるのか。

総務課主幹 工種によらず予定価格が 5,000 万円を超えるときは基本的に JV での発注となる。

木村委員 承知した。
各工事の落札率を見ると、予定価格 1,000 万円未満の工事は落札率が低く、競争原理がうまく働いているように見えるが、こういった少額の工事を増やすことは非効率でもある。
予定価格の事前公表が落札率の低下につながるように見えるが、予定価格 1,000 万円以上の案件についても予定価格を事前公表することについての考えは。

総務課主幹 国の工事は全て事後公表となっているが、地方自治体は事前・事後公表を選択できる。それぞれにメリット・デメリットがあるため、慎重に検討していきたい。

阿部委員 JV 発注の工事は高落札率になると考えていたが、工種によるものと理解した。
一方で、管工事については、JV 発注の工事を請ける際に業者側が無理をしているように見えるため、ヒアリング等をしながら、注視してい

ってほしい。

木村委員 全体の入札プロセスには問題はないものの、引き続き入札に競争の原理が働くように工夫を続けていただきたい。

○消石灰・炭酸ガス併用注入設備標準点検整備

[主な質疑応答]

田中委員 特殊な技術を要するため、市外の業者を使う工事は、一定程度あるという認識でよろしいか。

水道施設課長 水道施設などの特殊な技術を要する工事、点検については、市内のみならず道内でも対応できる業者がいないというケースもあるため、特定の業者に発注せざるを得ないこともある。

木村委員 設備の導入時に決まった業者がその後の点検等も行うことになると思うが、こういった設備の更新の頻度は。

水道施設課長 年1回の定期点検を行い、都度部分ごとの更新を行っているため、全体としては継続して使っていくことになる。

木村委員 機器には耐用年数があると思うが、いかがか。

水道施設課長 本設備は、浄水場の中に組み込まれているため、部分ごとの耐用年数に応じて交換しているので、設備全体としての耐用年数があるわけではない。

木村委員 承知した。

水道施設課長 この特許技術を取り扱えるのは道内では当該請負業者しかいないのか。

水道施設課長 道内では1社だけである。

木村委員 随意契約が必須であると理解した。

○白鳥台L団地市営住宅48・L8-4号棟改修実施設計委託

[主な質疑応答]

田中委員 各応札者の入札金額が大きく開くようなケースはよくあることか。

総務課主幹 本件のようなケースは珍しい。

木村委員 もしかすると入札に際して勘違いがあったのではないかと思うが、1回目の入札後には応札者に対して、入札結果を開示しているのか。

総務課主幹 開札時は最低入札者から入札額を読み上げ、「最低制限価格を下回っているため、無効」や「落札」といった結果を伝えている。

木村委員	全応札者が入札会場にいるときにか。
総務課主幹	そのとおり。補助者が入札金額を読み上げ、執行者が入札結果を宣言している。
木村委員	結果が伝わっていればなぜ落札されなかったかが理解できると思うので、本件については理解しかねる。 また、入札金額に2倍もの開きがあることについては、どのように考えるか。
建築管理課長	入札金額の開きについては、高い金額の応札者は、近年、本市の業務を受注していないが、低い金額で応札している2社は、これまでも本市の同様の業務を受注しており、どのように業務を進めるのかを理解している点などが推測できる。
木村委員	承知した。 また、地域要件を「北海道内に本店を有していること」としている理由は、市内のみでは応札者が少ないと考えられるためか。
建築管理課長	そのとおり。
木村委員	委託内容はデスクワーク中心の業務のため、積算は主に人工によるものか。
建築管理課長	そのとおり。
木村委員	そうであれば、各社の事情がそのまま入札金額に反映されていると理解した。